

7月18日昼の放送で、ALTからお別れの挨拶がありました。11年間ありがとうございました。



【ALTの最後のメッセージ（和訳）】

飯網中は初めて勤務する学校だったので、新しい経験ができることにワクワクしていました。と同時に、もしかしたら先生たちはとても厳しく、生徒たちを教えるのが難しいのではないかと心配していました。しかし、実際に到着してみると、先生たちは親切で、生徒たちを教えるのはとても楽しかったです。それから11年が経ち、私は今、こうして皆さんの前で最後のメッセージを伝えています。

先生方ありがとうございました。いつも親切にしてくださいました。

生徒の皆さん、一緒に過ごしたすべての時間に感謝します。生徒として、また人間として、皆さんの成長のお手伝いができて、皆さんが夢に向かって突き進む勇気を与えることができたなら幸いです。

飯網での11年間は、私にとって忘れられない良い思い出ばかりです。離れるのは寂しいですが、これも人としての成長、教師としての成長だと思ってこれからも精一杯頑張ります。

飯網中は私にとって第2の故郷です。11年間ありがとうございました。

7月18日2年生が町の保健室の先生の話听取了。テーマは「ふれあいと体の権利～人との距離感を考える～」です。前半は、「ふれあい」について、年齢によりふれあいの対象や形が変わることを学びました。後半は「体の権利」について、ふれあいには「同意」が必要で、自分が嫌だと感じる「ふれあい」は人権侵害であることを学びました。



からだには

「からだの権利」

があります。

あなたの体はあなただけのもの「**いいよ**」の**同意**がなければ、知っている人も、知らない人も、友だちも家族も、あなたのからだに触れたり、見たり、写真に撮ったりすることができません。

体のことや容姿のことを言葉で言ってしまうことも「からだの権利」を侵害することにつながります。

【生徒の感想より】

- ・自分の体のことは自分で決めていいことを改めて実感した。最近、性に関する迷惑発言が増えている。聞きたくないの誰かに相談しようと思った。(女子)
- ・男同士でよく腕をつかんだりしていたけど、もし相手が合意していなかったらやっではいけないだなと思った。(男子)
- ・人と触れ合う時は、相手の気持ちを気にしたり、自分が嫌なことはちゃんと断ったりすることが大切だと思いました。(女子)
- ・性について考えるのは、大切なことだと感じた。性に関わることを大きな声で言ったり、体を触れたりすることは良くないことだと思った。自分でもからだのことについて少し不安なことがあったので、自信が持て安心した。(男子)